

安全データシート (SDS)

初版 2005年12月25日

最新改定日 2022年 5月 1日

1. 製品及び会社情報

製品名 ; J I S G 3 1 1 2 鉄筋コンクリート用棒鋼
J I S G 3 1 0 1 一般構造用圧延鋼材
大臣認定 高強度せん断補強筋 (O T 6 8 5)

会社名 ; 大谷製鉄株式会社

住所 ; 本社・工場 富山県射水市奈呉の江8番地の4

担当部門 ; 管理部 管理課

T E L ; 0766-84-6151

F A X ; 0766-84-1995

2. 危険有害性の要約

G H S分類区分 ; 該当しない。

取扱い上の注意 ;

一般的な環境下では、固体状態で安定しており、物理化学的危険性、健康有害性及び環境有害性はない。但し、取り扱いについて以下の留意が必要である。

- ・重量物のため、転倒、転がり、荷崩れ等に注意を要する。
- ・鋼材の切断端面、切削屑等は、皮膚を傷つける場合がある。
- ・溶接、溶断、研磨等の加工を行い発生したヒューム、粉じんは、呼吸器、目、他の粘膜を刺激する場合があります、じん肺等の障害を生じる可能性がある。
- ・アークは火傷を起こす場合がある。
- ・なお、製品に含まれる元素成分については、有害性情報がある。(製品としての危険有害性の情報とはならない。)

健康有害性 ;

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
皮膚腐食性/刺激性	区分3	皮膚刺激(H315)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B	眼刺激(H320)
呼吸器感作性	区分1	吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ(H334)
皮膚感作性	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)
生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い(H341)
生殖毒性	区分1B	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(H360)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1	臓器の障害 (H370)
	区分 2	臓器の障害のおそれ (H371)
	区分 3	呼吸器への刺激のおそれ (H335)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (H372)

環境有害性 ;

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 4	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ (H413)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 ; 混合物 (合金)

主な成分 ;

成分	濃度 (%)	C A S 番号	安衛法番号	化管法番号
鉄 [F e]	残量	7439-89-6	—	—
マンガン[Mn]	2.0 以下	7439-96-5	550	第一種 412
銅 [C u]	1.0 以下	7440-50-8	379	—
クロム [C r]	1.0 以下	7440-47-3	142	第一種 87

注 ・CAS ; Chemical Abstracts Service(化学物質登録システム)
 ・安衛法 ; 労働安全衛生法、政令第 18 条の 2 別表 9
 ・化管法 ; 特定化学物質への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
 成分の濃度は、上記の範囲において、製品の規格、種類により異なる。
 上表の主な成分の他に、炭素、珪素、磷、硫黄等の微量元素を含む。

4. 応急処置

必要な応急処置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。

下記は、応急処置の例である。

吸入した場合 ; ヒューム、粉じん等を吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。

皮膚に付着した場合 ; ヒューム、粉じん等が皮膚に付着した場合、速やかに水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合 ; ヒューム、粉じん等が目に入った場合、速やかに水で洗うこと。

飲み込んだ場合 ; ヒューム、粉じん等を飲み込んだ場合、多量の水を摂取し、口をすすぐこと。

その他 ; アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。

5. 火災時の措置

通常の状態では、固体のため、不燃性であり、一般的な環境下で燃焼、爆発性はない。
火災発生時にも消火器・水による消火を行ってもよい。

6. 漏出時の措置

一般的な環境下では固体のため、漏出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意 ;

本製品を溶接・溶断又は研磨等の加工を行い、ヒューム、粉じん等を発生する場合は、適切な保護具を着用する。屋内での作業等の場合は、必要な排気処置をする。重量物のため、転倒・転がり・荷崩れ・落下等に注意する。取扱い後は手をよく洗うこと。

保管上の注意 ;

保管にあたっては、水分との接触、酸との接触、高温多湿の環境をさけること。結露等により、錆を発生させることがある。

8. ばく露防止及び保護措置

一般的な使用環境下では、固体であるため、ばく露防止及び保護措置に該当する事項はない。但し、溶接、溶断、研削、切削等の作業の際は、アーク、ヒューム、粉じんの吸引・接触を防護するマスク、メガネ、手袋等の保護具を着用する。また、局所排気装置の設置等により、空気汚染物質を許容濃度以下に保つ。

許容濃度 ;

成分	日本産業衛生学会許容濃度 [mg/m ³]
鉄 [F e]	—
マンガン[M n]	0.1
銅 [C u]	—
クロム [C r]	0.5

9. 物理的及び化学的性質

形状 ; 棒状の固体

色 ; 銀白色

臭い ; 金属臭

密度 ; 約 7.8 g/cm³

融点・凝固点 ; 1370°C以上

溶解度 ; 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 ; 一般的な環境下では、安定。

反応性 ; 酸などの化学物質と接触すると、有害なガス発生の原因となる可能性がある。

避けるべき条件 ; 高湿、混触危険物質との接触

11. 有害性情報

製品に関しては、有害性情報はない。

なお、製品に含まれる元素成分については、有害性情報がある。

有害性項目	Mn	Cu	Cr
急性毒性	-	-	-
皮膚腐食性/刺激性	区分 3	-	-
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B	-	区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	-	-	区分 1
生殖細胞変異原性	-	-	区分 2
発がん性	-	-	-
生殖毒性	区分 1B	-	-
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1	区分 3	区分 2, 3
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1	区分 1	-
誤えん有害性	-	-	-

※表中” - ” : 分類できない又は区分に該当しない

12. 環境影響情報

製品に関しては、環境影響情報はない。

なお、製品に含まれる元素成分については、下記の環境影響情報がある。

生態毒性 ;

有害性項目	Mn	Cu	Cr
水生環境有害性 (急性)	-	-	-
水生環境有害性 (慢性)	区分 4	区分 4	-

※表中” - ” : 分類できない又は区分に該当しない

13. 廃棄上の注意

スクラップとしてリサイクルする等、産業廃棄物に関する法律、都道府県及び市町村が定める関係条例など関連法規に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

14. 輸送上の注意

危険有害物質としての注意事項はない。輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

重量物であり、荷崩れしないようにする。

雨水等の浸透を防ぐため、シート等でカバーすることが望ましい。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

16. その他の情報

本製品安全データシートは、日本産業規格 Z 7 2 5 3:2 0 1 9 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」を参考にして作成されています。製品の安全な取り扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社が知見を有する情報を取扱事業者に提供するもので、情報の正確さ・安全性を保証するものではありません。又、製品についていかなる保証をするものでもありません。

記載している内容は、すべての人、環境、安全、健康面の影響を網羅するものではなく、又、すべての化学物質には未知の有害性が有りえます。従って、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があり、取扱いには細心の注意が必要です。

使用におかれましては、関係法令に従うと共に、自らの責任において個々の取扱い等の実体に応じた適切な処置を講じて頂きますようお願い申し上げます。